

Title	旧民法・現行民法の条文対照表：旧民法財産編総則・物権部（一）
Sub Title	Table de concordance de l'ancien Code civil avec le Code en vigueur. : Au Livre de biens ; Dispositions générales et lère partie (Des droits réels) de l'ancien Code (1)
Author	七戸, 克彦(Shichinohe, Katsuhiko)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1996
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.69, No.9 (1996. 9) ,p.135- 187
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	資料
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19960928-0135

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

資料

旧民法・現行民法の条文対照表

——旧民法財産編総則・物権部(一)——

七 戸 克 彦

一 「旧民法・現行民法の条文対照」補遺

- 一 「旧民法・現行民法の条文対照」補遺
- 二 旧民法・現行民法の条文対照表

- (一) 旧民法財産編総則
- (二) 旧民法財産編物権部

- 1 第一章 所有権
- 2 第二章 用益権、使用権及ヒ住居権(以上本号)
- 3 第三章 賃借権、永借権及ヒ地上権(六十九卷十号)
- 4 第四章 占有
- 5 第五章 地役(六十九卷十一号)

本稿は、本誌掲載の拙稿「旧民法・現行民法の条文対照——付・条文対照表(旧民法財産編総則・物権部)——」(法学研究六十九卷一号(一九九六年一月)一一一頁以下より接続する、旧民法財産編総則・物権部部分の条文対照表を掲載するものである。図表の形式は、——若干補正した箇所があるため、改めて初条より掲記したが——、基本的には前稿掲載のものと変わる箇所はない。従って、本「対照表」において使用した文献の「解題」並びに図表に関する「凡例」に関しては、前稿を参照いただくこととし、ここでは、前稿における過誤の訂正、及び、前稿執筆後の調査により新たに判明した事項に関する若干の補

遺を行いたい。

なお、以下の本文各章の表題及び段落冒頭の数字【1】
【2】……は、前稿のそれに一致しており、また、括弧内の
頁数は、前稿の当該頁を指示するものである。

〔2〕 仏文『草案注釈』第一卷（第二版）（後掲資料A②）
【11】（一九頁）「……刊行予定書籍の表記に相違が見られる」
との記載を削除し（これは慶大蔵本の当該頁の落丁と考えられ
るため。なお、この点に関しては前稿一六〇頁注②8）、一六二
頁注⑤2参照）、ポワソナードの肩書の表記等に相違が見られ
る」に訂正する。

第二期刊行の五巻からなるプロジェクト活版本のうち、まず、財
産編人権部に関する第二巻（第二版）に関しては、異本が存在
するらしい。というのは、野村豊弘教授が近時の論文において
参照される同書の「表紙には、発行年について、一八八三年と
いう西暦による表示のほかに、『XXV^e ANNEE DE MEIJII』（明
治一五年＝西暦一八八二年）という表示もあり、いずれが正し
いのか明らかでない」とされているからである。¹⁾これに対して、
筆者（七戸）が参照し得た第二巻（第二版）の表紙の記載は、
何れも『XXVI^e ANNEE DE MEIJII』となつてゐる。

また、同じく第二期刊行本のうち、第三巻（一八八八年刊
行）につき、慶大蔵本の表紙及び扉に記載されているポワソナ
ードの肩書は『Professeur-agrégé à la Faculté de Droits de

Paris』である。ところが、宗文館書店による復刻版は、出版
年においては慶大蔵本と同様の一八八八年ながら、ポワソナ
ードの肩書は『Professeur honoraire à la Faculté de Droits
de Paris』となつている。だが、ポワソナードがパリ大学から
名誉教授の称号を授与されるのは、一八八九（明治二二）年八
月一四日のことであるから、その前年の刊行年表記のある宗文
館書店復刻版が、ポワソナードの肩書を『Professeur honor-
aire』と表記しているのは、辻褄が合わない。宗文館書店復刻
版は、おそらく一八八九年に（プロジェクト第四巻・第五巻の刊行
と共に？）新たに刷り直された版であろう。

更に、この第二期刊行本に関しては、第四巻（債権担保編部
分）・第五巻（証拠編部分）についても、異本が存在する。筆
者の知るところのものは、東大法学部算作文庫所蔵の二冊であ
って、その一は、第四巻と第五巻の合冊本であり（算作337。
もっとも、これは、後の製本の際に合冊されたものか）、いま
一つは、第五巻につき、慶大蔵本及び宗文館書店の復刻版には
存在しないところの『PRÉFACE』を巻末に収録した版である
（同じく算作337）。右『PRÉFACE』の内容は、後の第三期刊
行のプロジェクト「新版」第一巻（前稿【42】。図表B④）冒頭に
収録された『PRÉFACE』と類似する箇所も存するが、しかし
ながら、全体としては一致しない部分の方が多い。また、プロ
ジェ「新版」第一巻所収の『PRÉFACE』の日付が、旧民法公
布後の『30 Juillet 1890』であるのに対して、本書所収『PRÉ-

FACE)の日付はその一年前、即ち、司法省法律取調委員会案が元老院に下付され、ボワソナードがフランスに一時帰国する直前の時期である(『Tokio. 27 avril 1889. G. B.』)。

従って、プロジェクトを引用する際には、これら異本問題を考慮して、何れの蔵本を参照したかを明記する必要がある。もっとも、この点は、ボワソナード・プロジェクトに限らず、この時代の全ての文献について成り立つ事柄である。

「2 元老院(後掲資料B⑥⑦⑧)」

【17】(一二三頁)「(a) 国立校文書館蔵『公文類聚』第一四巻之八一所収『民法草案』(活版、三冊)」を、「(a) II」とし、その前行に、次の文献を追加する。

- (a) I 『ボアソナード氏起稿』/民法草案修正文 自第五百一三條
至第八百一十四條
 - 『ボアソナード氏起稿』/民法草案修正文 自第八百一十四條
至第一千五百一十二條
 - 『ボアソナード氏起稿』/民法草案修正文 自第一千五百一十二條
至第一千五百一十二條
- (活版、三冊)⁽³⁾

右資料(a) Iは、資料(a) IIと同一の印刷物であって、前稿で紹介した資料(a) IIは、要するに、資料(a) I各巻の表紙を取り外し、また、その第二巻・第三巻巻末に存在した目次を各々の部・編の条文の前に移した上で、これを合綴したものである。

なお、資料(a) Iの第一巻の表紙には「明治十九年三月三日領収」の書入が、第二巻の表紙には「明治十九年三月三十日領

収」の書入が、第三巻の表紙には「明治十九年四月十二日領収」の書入が認められる。一方、資料(a) IIと共に『公文類聚』に綴じられている民法編纂局総裁大木喬任の上申書の欄外には、「法制局第一九八号」「四月十二日」の整理番号及び日付が書き込まれている。

となれば、民法編纂局案の内閣への提出時期に関しても、従来の学説においていわれてきたような、大木の上申書・副申書にある明治一九(一八八六)年三月三十一日ではなかった、という可能性が生じてくる。ここでは、(イ)大木の上申書・副申書、ボワソナードの意見書、草案の全てが、三月三十一日ではなくして四月一二日に内閣に提出されたか、あるいは、(ロ)大木の上申書・副申書、ボワソナードの意見書、草案の財産編物権部・人権部(Ⅱ資料(a) Iの第一巻・第二巻相当部分)は三月三十一日に提出されたが、草案の財産取得編部分(Ⅱ資料(a) Iの第三巻相当部分)に関しては四月一二日に追完された、との二つの仮説が成り立ち得るが、何れも、現段階ではこれを裏づけるだけの資料に乏しい。

なお、前稿でも指摘したように、資料(a) IIには、毛筆による書込(訂正)箇所が存在するが、右訂正箇所は、国立公文書館所蔵の元老院関係資料「明治十九年／圖書部(版權・出版・受納)／第一課記録掛」中に綴り込まれている正誤表に一致することが判明した。

「② 仏文『草案』（英訳原典）後掲資料A③）」

【25】（一三〇頁）資料(a)を「aⅡ」とし、その前行に、次の文献を追加する。

- (a) I PROJET / DE CODE CIVIL / POUR L'EMPIRE DU JAPON / par M. G^e BOISSONNADE / Professeur-agrégé à la Facult de Droit de Paris. / En mission au Japon. / TOME PREMIER / DES BIENS. / TOKIO / XX^e ANNÉE DE MEIJI / 1887. / Traduction et reproduction réservées.

右表題には、『TOME PREMIER / DES BIENS』とあるが、本文献には、第二編（財産編）総則・物権部・人権部、及び、第三編（財産取得編）前半の全条文（一条—一〇〇条）が収録されている（条文のみを掲載するもので注釈はない）。また、その内容は、筆者の瞥見した限りでは、前稿にて紹介した一八八九年刊行の英訳原典と思しき資料(a)Ⅱ（＝図表A③）と同一であるように見受けられる。但し、本資料(a)Ⅰにあつては、資料(a)Ⅱに存在した《NOUVELLE CORRECTIONS AUX TOME I^{er} ET II^e》は、存在しなう。従つて、後掲図表中A③「Projet (1889)」（＝資料(a)Ⅱ）の記載は、修正前の条文に關しては「Projet (1887)」（＝資料(a)Ⅰ）と読み替えていたきたい。

なお、前稿においては、資料(a)Ⅱ掲載の条文（修正前のもの）が、その内容から判断して、明治二〇（一八八七）年一二

月より開始される司法省法律取調委員会第一回審議原案の仏文原典であったのではないか、との仮説を提示しておいたが、資料(a)Ⅰの存在から、右仮説は、より現実味を帯びてきたように思われる。

「2 元老院（後掲資料B⑩⑪⑫）」

【32】（一三四頁）資料(a)を「aⅠ」とし、これと資料(b)の間に、次の文献を追加する。

(a)Ⅱ 東大法学部蔵『民法草案財産編』(F9668-8791)

(a)Ⅲ 筑波大穂積文書『民法草案財産編』

司法省法律取調委員会案＝元老院下付案（B欄⑩。前稿【32】参照）・再下付案（B欄⑪。前稿【33】参照）・上奏案（B欄⑬。前稿【34】参照）と思しき四冊本は、証拠編部分を除けば何れも同一印刷物であつて、変更・修正は、その上になされた書込個所の相違として現れていた。上記資料(a)Ⅱ・(a)Ⅲは何れも、この四冊本の中の第一冊部分に当たり、内容から判断する限り、元老院民法審査委員会・司法省法律取調委員会による修正を受ける前の案（＝資料B⑩）と推測される。

「3 枢密院（後掲資料B⑭⑮）」

【39】（一三七頁）「この段階での諸草案に關しては、国立公文書館『公文類聚』第一四卷之八五に」とあるのは、「国立公文書館所蔵、枢密院關係資料『F. 決議』關係文書（2A 15-

11-改 P35」の誤植。

上述の元老院段階での諸議案と同様、枢密院段階での諸議案も、資料上においては、同一の印刷物における、書込個所の差異となつて現れる。前稿執筆段階では、このうち、国立公文書館所蔵の二種の文献【39】資料(a)・資料(b)を確認したのみであったが、その後の調査で、他にも同一の印刷物であつて書込内容の異なる資料が存在することが判明した。これを、書込の少ないもの(Ⅱ成立において古いもの?)から順に列挙すれば、次のようになる。

(a) I 東大法学部蔵『民法財産編』(F9698-8771)

(a) II 東大法学部算作文庫蔵『民法』(算作 533)

(a) III 東大法学部算作文庫蔵『民法』(算作 534)

これらの資料は、その書込の内容から判断して、何れも、前稿にて紹介した、資料(a)枢密院決議案、資料(b)最後修正本よりも前のものと解されるが(従つて、前稿資料(a)はこれを資料「(a)IV」に修正する)、なかならず興味深いのは上記資料(a)IIIであつて、右資料の書込個所は、議案に関する二回の本会議(明治二二年三月一日、二五日)の間に開催された、いわゆる「枢密院総委員会」(「枢密院臨時協議会」と呼称する文献もある)段階での修正と推測される。右資料との関係において、枢密院段階では議案には修正は加えられられなかったとする従来の学説の立場は、いま一度検討し直す必要があるように思われる。⁹⁾

「四 結 語」

【58】—【60】(二五三頁—一五六頁)。ここでは、旧民法が概ねフランス法を継受したものであるの対して、現行民法は比較法の産物であるとする、従来の学説の対比的理解について付言しておきたい。

学説は、ポワソナード旧民法と現行民法との間には、参照された立法例の種類ないし多寡、及び、参照立法例に対する比重の置き方に関して決定的な違いがあるものと考へている。

確かに、ポワソナードにおける草案起草の基本方針はフランス法中心主義、即ち、基本的にはフランス民法に従いつつ、その欠陥につきその後の新立法——イタリア民法・ベルギー民法・ドイツ民法——によって補正する、というものであり、しかも、ポワソナードの草案起草中にドイツ民法典は公布を見なかつたため、結局ポワソナードがこれを参照することはなかつた。¹³⁾

① しかしながら、まず、第一に、ポワソナードがドイツ法の立場を全く参照しなかつた、という従来よりの理解は、改められるべきである。例えば、不動産登記簿の編成に関して、ポワソナードは、フランス・イタリア・ベルギーの採用する人的編成主義と、ドイツの採用する物的編成主義を——国名を明示して——対比した後、草案においては、ドイツ法主義を採用すべきことを説いている。¹⁴⁾

② 第二に、旧民法は、ボワソナード草案をそのまま反映したものではなく、民法編纂局・法律取調委員会、元老院、枢密院における日本人側の審議を経て成立したものであるところ、ここでは、上記ボワソナード・プロジェクトに挙げられている以外の、種々の外国法典が参照されている。例えば、民法編纂局案の元老院審議において、津田真道は「起草者ハ其暁通セル羅馬法佛蘭西民法及伊太利白耳義埃及其他ノ各國ノ民法ヲ對照シ」と述べ、また、司法省法律取調委員会においては、

(イ) 用收権に関する取調委員会（第一次）審議（明治二〇年一月二日）での栗塚省吾報告委員の説明に、「歐羅巴ニハアルト云テ宜シイ、單ニ『シビツス』（『スイスか？』）ノ中ノ聯邦ニナイノト亞米利加ト魯西亞ニアリマセン」とあり、⁽¹⁶⁾
 (ロ) 占有に関する六九四条審議（明治二十一年一月一七日）での栗塚報告委員の説明に、「獨逸デハ『テヤヒーリング』ガ當ルカラ一致ニシテ宜イト云フノデ『權利行爲』ト致シマシタ」とあり、⁽¹⁷⁾

(ハ) 「人證ノ存廢」に関する取調委員会審議（明治二十一年一月二日）において提出された「甲説」中に、「瑞西聯邦ノ『ブヲ』ニ於テハ八百フランク即チ百六十圓トス」とあり、⁽¹⁸⁾
 (ニ) 再調査委員会における用益権の定義に関する明治二十一年七月七日審議において、「（山田顕義 委員長）獨乙ニモアルノデシヨウ」（栗塚委員）獨乙法律ニハ條件ニ從ヒ用收ニ三種アルト云フノデス」（今村（和郎）委員）獨乙民法ハ定義ナシデ

アリマス」とのやり取りが見出される。⁽¹⁹⁾

これら参照立法例の広さは、現行民法の立法過程と比較しても、決して遜色のないものである。その基となったのは、民法編纂局時代の早期（明治一五（一八八二）年前後）より主として司法省において翻訳が行われていた、アントワーヌ・ド・サン・ジョゼフのテキスト等であり、また、ドイツ（民）法に関しては、これに加えて、ロエスレル、ルドルフらドイツ系の御雇外国人の意見、及び、明治二一年以降の翻訳が見出されるこのドイツ民法第一草案理由書も参照されたであろう。⁽²⁰⁾

他方、現行民法起草段階で参照されたとされる立法例の多くは、上記サン・ジョゼフの原典あるいは旧民法編纂段階の翻訳等にこれを見出すことができるのであって、要するに、現行民法典の起草者は、全く新規に種々の外国法典の収集・翻訳を行なったのではなくして、これら旧民法編纂時代の成果を、ほとんどそのまま転用したに過ぎない。

以上を要するに、旧民法も現行民法も、比較法の産物であるという点においては基本的には変わるところがないのであって、現行民法は比較法の所産であるが旧民法はそうではない、あるいは、現行民法においてはドイツ法が参照されたが旧民法では参照されなかった、というのなら、それは誤りという他はない。⁽²¹⁾
 ③ これに対しては、あるいは、比較法的手法の相違の側に着眼して、旧民法ではあくまでもフランス法を基本に置いていたが、現行民法ではそうではない点において両者は対比できると

の反論があるかもしれない。しかしながら、このような評価は、現行民法が旧民法の「修正」であり、従って、あくまでも旧民法の条文が起草のベースに置かれていたことを等閑視するものである。即ち、旧民法起草の基本方針がフランス法中心主義であったのと同様に、あるいはそれ以上に、現行民法の起草は（まさにそのフランス法中心主義であるところの）旧民法をベースに行われたものと解される。即ち、ある特定の一個の法典を念頭に立法が行われたという点においては、現行民法の起草の手法は、旧民法のそれと大差がない。

④ あるいはまた、成立した条文に関する客観的・数値的評価として、旧民法はフランス法一辺倒であるが、現行民法は多様な立法に由来するというのならば、それもまた正当ではない。前稿での定量分析からもある程度知られるように、現行民法もまた、旧民法と同程度にフランス法に由来する条文の数は多く、フランス法以外の立法に由来する条文の比率は、旧民法と現行民法との間で、従前の学説が強調するほど顕著な差異となつては現れていない。

⑤ なお、学説の中には、現行民法がパンデクテン・システムを採用した点を重要視し、この点に現行民法のドイツ法的要素の本質を見出そうとする見解もある。しかしながら、パンデクテン・システムは、BGBの起草者の説明によれば、物権と債権の性質、指導原理及び取得原因を峻別するために採用された法体系であつて、BGBにおいては、かかる論理関係を前提と

して、例えば物権行為と債権行為の独自性が規定されたのである。これに対して、我が現行民法のパンデクテン・システムと具体的な法制度・条文との間には、そのような直結的な論理関係が認められるであろうか。大木雅夫教授の比喩をお借りすれば、なるほど「ライオンの腹を割いたらウサギがたくさん出てきた」という場合、だからといってライオンはウサギだとはいいがた⁽²³⁾い。しかしながら、この比喩は筆者に、むしろ羊の皮を被った狼であるとか、あるいはライオンの皮を被ったキツネの寓話の側を想起させた。我々は、パンデクテン・システムというライオンが、現行民法の個々の法制度・条文の解釈論に現実に影響を与える程度の生身のライオンであるのか、ほとんど影響しない外皮に過ぎないのかについても、いま一度検討しておく必要があるだろう。

(1) 野村豊弘「ホアソナードの契約に関する基礎理論——錯誤を中心に——」星野英一先生古稀祝賀『日本民法学の形成と課題(上)』(有斐閣、一九九六年)二六一頁、二六三頁注(8)。

(2) 大久保泰甫『近代日本法の父ホワソナード』(岩波新書(黄版)33、一九七七年)一六一頁。

(3) 筆者が参照したのは、東大法学部箕作麟祥文庫蔵本(箕作515)である。右蔵本は、活版、一八四、三冊、刊年・出版元等の記載はない。なお、法務図書館も、右東大蔵本のうちの第一巻・第二巻と同一書籍と思しき文献を所蔵する(×B300 B-10)(未見)。『法務図書館所蔵貴重書目録(和書)』(法務図書館、一九七三年)

三八頁によれば、同書は「活版、二冊、一八〇」第二編財産第五〇—一八三条、八一四—二〇〇条」からなるという。

(4) 前稿【17】(二三頁) 参照。

(5) 前稿【20】(二二四頁) 参照。

(6) 元老院二行野紙、写本、日付等の記載なし。「第二編 人權ノ部」一丁、「第二編物權ノ部」一丁、「第三編特定名義獲得ノ部」一丁からなる(綴込順)。

(7) 東大法学部算作文庫蔵(算作32)。活版一冊、一八cm×二五cm(B列五版の規格原紙寸法)、目次・補遺等はなく本文のみ、全三七九頁。随所に青鉛筆にて加筆・訂正が加えられており、表紙記載の刊年《XX^e ANNÉE DE MEJJI / 1887》も、《XXXI^e ANNÉE DE MEJJI / 1888》に改められている。おそらく、本書は、一八八七(明治二〇)年に刷り上がった試し刷りであり、刊行されることなく、翌一八八八(明治二一年)に修正を受けるに至ったのであろう。修正者は算作である可能性が高いが、この修正と法律取調委員会審議の關係等、修正の施された経緯については、現段階では必ずしも判然としない。なお、算作文庫蔵本中、「算作38」も同一書籍であるが、三〇四頁(七九七条部分)が破損し、三〇五頁以下が欠損している。

(8) 前稿【26】(三〇—三二頁) 参照。

(9) 本資料は、近時、阿部徹「民法成立史二班(五)(六)——筑波大学附属図書館蔵『穂積文書』採録——」筑波法政一九九号(一九九六年)三九七頁以下、二〇号一九一頁以下に翻刻されている。

(10) これは、活版、美濃判(二五cm)、袋綴、四冊からなる和装本で、枢密院段階で現れる四冊本(前稿【39】参照)と装丁が類似するため、混同を招きやすい。目録等の記載から両者を容易に区別す

ることは、表題・条数・総丁数の違いである。これを図表化するなら、次の通り。

元老院案	①②③	枢密院案
①	②③	④⑤
民法草案財産編 (五六九条・一三三丁表)		民法財産編 (五七二条・一三三丁裏)
民法草案財産取得編 (一九一条・七二丁表)		民法財産取得編 (一八五条・六八丁裏)
民法草案債權担保編 (三二四條・八一丁表)		民法債權担保編 (一九八条・七五丁裏)
民法草案証拠編 (六六条・三五丁裏)	民法証拠編 (二六八条・三六丁表)	民法証拠編 (二六四條・三五丁表)

(11) 手塚豊「旧民法(財産編・財産取得編前半・債權担保編・証拠編) 密查枢密院會議筆記」法学研究二八卷一号(一九三五年)五一頁、五四頁(手塚豊著作集第八卷『明治民法史の研究(上)』(慶應通信、一九九〇年)所収)、藤原明久『ボワソナード抵当法の研究』(有斐閣、一九九五年)一頁。

(12) G. BOSSONADE, *Projet de Code civil pour l'Empire du Japon accompagné d'un commentaire*, t.1, 2^e éd., 1882, 《INTRODUCTION》, pp. 5 a 6. 藤原・前出注(11)二一四頁参照。ちなみに、プロジェクト第一版においては、ヘルギー民法・ドイツ民法を参照することの記述は存在していなかった。BOSSONADE, *Projet*, (1^{re} éd.), Livre II-1^{re} Partie (= t.3), 1882, 《INTRODUCTION》, pp. IV

- a V.
- (2) G. BOISSONADE, *Projet, Nouvelle éd.*, t.1, 1890, 《PRÉFACE》, p.XVII, note G). 藤原・前出注 (11) 三頁。
- (14) BOISSONADE, *Projet*, (1^{re} éd.), Livre II-II^{re} Partie (=t.3), 1882, pp.207 a 208; *Projet*, 2^e éd., t.2, 1883, n° 204, pp. 208 à 209.
- (15) 前稿一二頁(前記)参照。
- (16) 法務大臣官房司法法制調査部監修『日本近代立法資料叢書8』(商事法務研究会、一九八七年)所収「法律取調委員会・民法草案第二編物権ノ部議事筆記・自第一回至第十回」九〇頁。
- (17) 前出注(16)所収「法律取調委員会・民法草案第一編財産ノ部議事筆記・自第十一回至第十六回」一〇〇頁。
- (18) 前出注(17)一二〇頁。
- (19) 法務大臣官房司法法制調査部監修『日本近代立法資料叢書11』(商事法務研究会、一九八八年)所収「法律取調委員会・民法草案財産編再調査議事筆記・自第一回至第十三回」五三頁。
- (20) Antoine de SAINT-JOSEPH, *Concordance entre les codes civils étrangers et le Code Napoléon*, 2^e éd., t.1 à t.4, 1856, Colton, Libraire du Conseil d'État, Paris. その翻訳をはじめとする旧民法編算時期における種々の外国法典翻訳書に関しては、さしあたり、五十川直行「日本民法に及ぼしたイギリス法の影響〈序説〉」加藤一郎先生古稀記念『現代社会と民法学の動向(下)——民法一般』(一九九二年、有斐閣)三二頁注(46)参照。
- (21) 『法務図書館所蔵貴重書目録(和書)』前出注(3)七頁には、『独逸民法草案理由書 第一一二編』(司法省刊、明治二二—二三年)、今村研介訳『独逸民法草案 第三一五編』(記録課写本、一〇行算紙、半紙、明治三年)の文献がある(未見)。

- (22) 大木雅夫「世界におけるわが国の民法——日本民法典の系譜」法学教室一八一号(一九九五年)三四—三五頁。更に、赤松秀岳「民法典の体系」同四三頁以下も参照。
- (23) 大木・前出注(22)三五頁。

【追記】

なお、ボワソナード民法典研究会(研究代表者・大久保泰甫名古屋大学教授)は、平成七年度支部省科学研究費補助金(総合研究(A)「ボワソナード民法典に関する総合的研究——近代日本民法の出発点に立ち帰って——」(課題番号05301066))につき、平成八年(一九九六)年三月、三冊からなる研究成果報告書を提出した。旧民法の立法過程に現れた諸草案・諸資料の詳細に関しては、右報告書「第二分冊」を参照されたい。

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
第2期								
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会	帝国議会・正文		
①明治21/7/3- 再調査委員会 原案	明治21/12/28 取調委員会 内閣提出案 ↓ ①明治22/1/24 元老院下付案	②明治22/7/24 元老院再下付 (修正)案	③明治22/7/30 元老院議定・ 上奏案	④明治23/3/11 枢密院諮詢案 ↓ ⑤明治23/3/25 枢密院決議案 ↓ ⑥明治23/4/21 旧民法正文	⑦明治26/5/12- 主査会・調査 委員会原案	⑧明治27/12/18- 整理会原案	⑨明治29/2/28- 衆議院議案	⑩明治29/3/18- 貴族院議案 ↓ ⑪明治29/4/27 現行民法正文
第二編 財産	財産編	財産編	財産編	財産編				
前置條例 財産及ヒ物ノ 區別	總則 財産及ヒ物ノ 區別	總則 財産及ヒ物ノ 區別	總則 財産及ヒ物ノ 區別	總則 財産及ヒ物ノ 區別				
1 I II i ii	1 I II i ii	1 I II i ii	1 I II i ii	1 I II i ii				
2 I II 1° 2°(b) 3° 4°	2 I II 1° 2° 3° 4°	2 I II 1° 2° 3° 4°	2 I II 1° 2° 3° 4°	2 I II 1° 2° 3° 4°				
III 1° 2° 3° 4° 5° 6° IV	III 1° 2° 3° 4° 5° 6° IV	III 1° 2° 3° 4° 5° 6° IV	III 1° 2° 3° 4° 5° 6° IV	III 1° 2° 3° 4° 5° 6° IV				
			財2. 仏543. 澳307. 308. 蘭384. グラ344. グアラグコゾチン176. モンネグロ15. 独1草796. メソチ材479		[176]	[176]	[175]	[175]
3 I II	3 I II	3 I II	3 I II	3 I II				

旧民法・現行民法の条文対照表

参照立法例	A 旧民法 (仏文資料)					B		
	第1期		第2期			第1期		
						司法省法律		
	①1880(明治13) Projet. 1 ^o éd.	②1882(明治15) Projet. 2 ^o éd.	③1887(明治20) *1889(明治22) Projet.	④1890(明治23) Projet. nouvelle éd.	⑤1891(明治24) Exposé des Motifs.	明治19/3/31 民法編纂局案 ↓ 明治19/6/5 元老院下付案 ↓ 明治20/10/21 元老院再下付案 a. 民法草案修正文 (501-1502条) c. 民法草案修正文 (501-1500条)	明治20/12/3- 取調委員会 原案	
	LIVRE DEUXIÈME. DES BIENS.	LIVRE II. DES BIENS.	LIVRE II. DES BIENS.	LIVRE II. DES BIENS.	LIVRE DES BIENS.	第二編 財産	第二編 財産	第二編 財産
	DISPOSITIONS PRÉLIMINAIRES. DE LA DIVISION DES BIENS ET DES CHOSES.	DISPOSITIONS PRÉLIMINAIRES. DE LA DIVISION DES BIENS ET DES CHOSES.	DISPOSITIONS PRÉLIMINAIRES. DE LA DIVISION DES BIENS ET DES CHOSES.	DISPOSITIONS PRÉLIMINAIRES. DE LA DIVISION DES BIENS ET DES CHOSES.	DISPOSITIONS GÉNÉRALES. DE LA DIVISION DES BIENS ET DES CHOSES.	前置條例 財産并二物ノ 區別	前置條例 財産并二物ノ 區別	前置條例 財産及ヒ物ノ 區別(b)
	1 i ii	1 I II i ii (***ii)	1 I II i ii	1 I II i ii	1 I II i ii	501 I II i ii	501 I II i ii	501 I (b) II i ii
	2 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o III IV	2 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o III IV V (***V)	2 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o III IV	2 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o III IV	2 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o III IV 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o 6 ^o IV i ii	502 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o III IV V	502 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o III IV V	502 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o III IV
	3 I II	3 I II III (***I)	3 I II III (*II) (*III)	3 I II III	3 I II III	503 I II III	503 I II III	503(b) I II III

旧民法（邦文資料）					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議会・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	㊦㊧㊨正文	㊦(主査会)原案	㊧整理会原案	㊨衆議院議案	㊩㊪正文
4(b)	4	4	4	4				
					第一編 總則 第三章 物 (甲4-2*)	第一編 總則 第三章 物	第一編 總則 第三章 物	第一編 總則 第三章 物
5	5	5	5	5	—(b, ㊩c)			
i ii iii	i ii iii	i ii iii	i ii iii	i ii iii				
6	6	6	6	6	—(b, ㊩c)			
I II (b) III 1° 2° 3°(b)	I II i ii III i ii 1° 2° 3°	I II i ii III i ii 1° 2° 3°	I II i ii III i ii 1° 2° 3°	I II i ii III i ii 1° 2° 3°				
					86 (甲4-1*)	(88)87	85	85
					87	88	86	86
					I II	I II	I II	I II
					[cf. 財346 II]	III	III	III
7	7	7	7	7				
i ii	i ii	i ii	i ii	i ii				
8	8	8	8	8		89		
I 1°(b) [9°] 2°(b) 3° 4° 5° 本 但 6° 本 但	I 1° 2° 3° 4° 5° 本 但 6° 本 但	I 1° 2° 3° 4° 5° 本 但 6° 本 但	I 1° 2° 3° 4° 5° 本 但 6° 本 但	I 1° 2° 3° 4° 5° 本 但 6° 本 但				

旧民法・現行民法の条文対照表

参照立法例	A 旧民法 (仏文資料)					B		
	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法律
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑨原案
②伊437	4	4	4 (*4)	4	4	504	504	504
	5	5	5	5	5	505 i ii(*)	505 i ii	505 i ii
	6 I II i ii III i ii 1° 2° 3° 4°	6 I II III i ii 1° 2° 3°	6 I II III i ii 1° 2° 3° (*1°) (*2°)	6 I II III i ii 1° 2° 3°	6 I(*) II III i ii 1° 2° 3°	506 I II iii i ii 1° 2° 3°	506 I II III i ii 1° 2° 3°	506 I II III i ii 1° 2° 3°
③仏516, 517, 527	7	7	7 (*7)	7 i ii	7	507	507	507
	8 1° 2° 3° 4° 5° 6°	8 I 2° 3° 4° 5° 6°	8 I 2° 3° 4° 5° 6° (*3°)	8 I 2° 3° 4° 5° 6°	8 I 2° 3° 4° 5° 6° 5°(*)	508 I 1° 2° 3° 4° 5° 6° 本 但	508 I 1° 2° 3° 4° 5° 6° 本 但	508 I 1° 2° 3° 4°(b) 5° 6° 7° 本(b) 但
②仏518	1°	1°	1°	1°	1°	1°	1°	1°
②伊412	2°	2°	2°	2°	2°	[9°]	2°	2°
②伊412	3°	3°	3°	3°	3°	3°	3°	3°
②仏519	4°	4°	4°	4°	4°	4°	4°	4°(b)
③仏520	5°	5°	5°	5°	5°	5°	5°	5°
③仏520	6°	6°	6°	6°	6°	6°	6°	6°
③仏521	7°	7°	7°	7°	6°	7°	7°	7° 本(b) 但

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議会・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	(㊦㊧)㊦正文	㊦(主査会)原案	㊦整理会原案	㊦衆議院議案	(㊦)㊦正文
7°	7°	7°	7°	7°				
8°	8°	8°	8°	8°				
本 但	本 但	本 但	本 但	本 但				
9°	9°	9°	9°	9°				
10°	10°	10°	10°	10°				
11°	11°	11°	11°	11°				
II (b)	II (*)	II	II	II				
9	9	9	9	9	---(b, ㊦c)			
i	i	i	i	i				
ii	ii	ii	ii	ii				
iii(但)(b)	iii(但)	iii(但)	iii(但)	iii(但)				
1°	1°	1°	1°	1°				
2°(b)	2°	2°	2°	2°				
3°	3°	3°	3°	3°				
4°(b)	4°	4°	4°	4°				
5°	5°(*)	5°(*)	5°(*)	5°(*)				
6°	6°	6°	6°	6°				
7°	7°	7°	7°	7°				
本 但(b)	本 但	本 但	本 但	本 但				
8°	8°	8°	8°	8°				
9°(b)	9°	9°	9°	9°				
10°	10°	10°	10°	10°				
11	10	10	10	10	---(b, ㊦c)			
1°	1°	1°	1°	1°				
2°	2°	2°	2°	2°				
3°	3°	3°	3°	3°				
4°	4°	4°	4°	4°				

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (+1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦民法編纂局案・元老院下付案		司法省法
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑧原案
③仏1810年 4月21日法律 1-4. 8. 9	8°	8° i ii	8° I II [12°]	8° I II	7° 8°	8° i(*) ii 9° 本 但	8° i ii 9° 本 但	8° I II 9° 本 但
②仏518	9° 10°	9° 10°	9° 10°	9° [2°] 10°	9°			[2°]
②仏523	11° 12°	11° 12°	11° 12°	11°(*) 12°	11° [8°]	10° 11° 12°	10° 11° 12°	10° 11° 12°(b)
②仏524. 525 ③仏524 I. II. XIII	9 I	9 i ii	9 I II (*III)	9 I II III	9 i	509 I II	509 I II	509 I II(b)
③[Comp.] 仏524 III-XII	II 1° 2° 3° 4° 5° 6° 7° 8° 9°	10 1° 2° 3° 4° 5° 6° 7° 8° 9°	10 1° 2° 3° 4° 5° 6° 7° 8° 9°	10 1° 2° 3° 4° 5° 6° 7° 8° 9°	ii 1° 2° 3° 4° 5° 6° 7° 8° 9°	510 本 但 1° 2° 3° 4° 本 但 5° 6° 7° i ii 8° 9° 本 但 10° 11°	510 本 但 1° 2° 3° 4° 本 但 5° 6° 7° i ii 8° 9° 本 但 10° 11°	510 本 但 1° 2° 3° 4° 本 但 5° 6° 7° i ii 8° 9° 本 但 10° 11° 12° 本 但 13° 14°
②伊409	10° i ii 11°	10° i ii 11° (***11°)	10° 11° 12°	10° 11° 12°	8° 9°	10° 11° 13° 14°	10° 11° 13° 14°	10° 11° 13° 14°
③[Comp.] 仏532	12° 13°	12° 13°	13° 14°	13° 14°	10°	12° 13°	12° 13°	13° 14°
②仏526	10 1° 2° 3°	11 1° 2° 3° (***3°) 3°(***4°)	11 1° 2° 3° 4°	11 1° 2° 3° 4°	10 1° 2° 3° 4°	511 1° 2° 3° 4°	511 1° 2° 3° 4°	511 1° 2° 3° 4°

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議会・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	㊦㊧㊨正文	㊦(主査会)原案	㊦整理会原案	㊦衆議院議案	㊦㊧㊨正文
12 本 但	11 本 但	11 本 但	11 本 但	11 本 但				
13 i ii 1° 2° 3° 4°	12 i ii 1° 2° 3° 4°	12 i ii 1° 2° 3° 4°	12 i ii 1° 2° 3° 4°	12 i ii 1° 2° 3° 4°	---(b, ㊦c)			
14 1° 2° 本 但 3° i ii 4° i ii 5°	13 1° 2° 本 但 3° i ii 4° i ii 5°	13 1° 2° 本 但 3° i ii 4° i ii 5°	13 1° 2° 本 但 3° i ii 4° i ii 5°	13 1° 2° 本 但 3° i ii 4° i ii 5°	---(b, ㊦c)			
15 I II	14 I II	14 I II	14 I II	14 I II (*)				
16 I (b) II i ii iii	15 I II i ii iii	15 I II i ii iii	15 I II i ii iii	15 I II i ii iii				
[43II 本] [43II 但]		財15、41II、4546、澳294、廣556、557。 露237、ケラガノエンデン178、カ1-ワ50-57、 ソソテカノ808、809、白草591、592、 独1章783-791、晋1部2節60、108			88 I II 本 但	90 I II 本 但	87 I II	87 I II
17 1° 2° 3°(b)	16 1° 2° 3°	16 1° 2° 3°	16 1° 2° 3°	16 1° 2° 3°	---(b, ㊦c)			

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法行
						a. 修正案 (-1502)	c. 修正案 (-1500)	⑨原案
②仏528	11	12	12	12	11	512 本 但	512 本 但	512 本 但
	12 i	13 i	13 i	13 i	12 i	513 i	513 i	513 i
	ii	ii	ii	ii	ii	ii	ii	ii
	1 ^o	1 ^o	1 ^o	1 ^o	1 ^o	1 ^o	1 ^o	1 ^o
	2 ^o	2 ^o	2 ^o	2 ^o	2 ^o	2 ^o	2 ^o	2 ^o
	3 ^o	3 ^o	3 ^o	3 ^o	3 ^o	3 ^o	3 ^o	3 ^o
		(***4 ^o)	4 ^o	4 ^o	4 ^o			4 ^o
②仏529	13 1 ^o	14 1 ^o	14 1 ^o	14 1 ^o	13 1 ^o	514 1 ^o	514 1 ^o	514 1 ^o
	2 ^o	2 ^o	2 ^o	2 ^o	2 ^o	2 ^o	2 ^o	2 ^o
	3 ^o	3 ^o	3 ^o	3 ^o	3 ^o	本 但	本 但	本 但
②仏529	4 ^o	4 ^o	4 ^o	4 ^o	4 ^o	3 ^o	3 ^o	3 ^o
	5 ^o	5 ^o	5 ^o	5 ^o	5 ^o	4 ^o	4 ^o	4 ^o
			(*5 ^o)	5 ^o	5 ^o	本 但	本 但	本 但
						5 ^o	5 ^o	5 ^o
	14 I	15 I	15 I	15 I	14 I	515 I	515 I	515 I
	II	II	II	II	II	II	II	II
			(*II)	II	II			
②(***) 仏567, 569	15 I	16 I	16 I	16 I	15 I	516 I	516 I	516 I
	II	II	II	II	II	II	II	II
	i	i	i	i	i	i	i	i
	ii	ii	ii	ii	ii	ii	ii	ii
	iii	iii	iii	iii	iii	iii	iii	iii
②仏1615	III	III	III	III	III	III	III	III
			(*43II)			本 但	本 但	本 但
	16 i(*)	17 I	17 I	17 I	16 1 ^o	517 I	517 I	517 I
		II	II	II	II	II	II	II
		i	i	i	i	i	i	i
		ii	ii	ii	ii	ii	ii	ii
		III	III	III	III	III	III	III
	ii	i	i	i	i	i	i	i
		ii	ii	ii	ii	ii	ii	ii
		IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV
	iii	i	i	i	i	i	i	i
	iv	ii	ii	ii	ii	ii	ii	ii

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議会・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	(㊦㊧)㊦正文	㊦(主査会)原案	㊦整理会原案	㊦衆議院議案	(㊦)㊦正文
4°	4°	4°	4°	4°				
18	17	17	17	17	— (b, ㊦c)			
19	18	18	18	18	— (b, ㊦c)			
I	I	I	I	I				
II	II	II	II	II				
20	19	19	19	19	— (b, ㊦c)			
I	I	I	I	I				
II	II	II	II	II				
III	III	III	III	III				
IV	IV	IV	IV	IV				
21	20	20	20	20	— (b, ㊦c)			
I	I	I	I	I				
II	II	II	II	II				
III	III	III	III	III				
[25i]								
[25ii]								
[26i]								
[26ii]								
22	21	21	21	21	— (b, ㊦c)			
[人事編]								
23	22	22	22	22	— (b, ㊦c)			
i	i(*)	i(*)	i(*)	i				
ii	ii	ii	ii	ii				
1°	1°	1°	1°	1°				
本 但(b)	本 但	本 但	本 但	本 但				
2°	2°	2°	2°	2°				
3°	3°	3°	3°	3°				
4°	4°	4°	4°	4°				

旧民法・現行民法の条文対照表

参照立法例	A 旧民法（仏文資料）					B		
	①Projet, 1 ^{re} éd.	②Projet, 2 ^e éd.	③Projet, 1887 (*1889)	④Projet, nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑦⑧民法編纂局案・元老院下村案		司法省法府
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑨原案
②[v.] 仏1003, 1010	v vi	V i ii iii	V i ii	V i ii iii	4 ^o i ii iii	V i ii	V i ii	IV i ii
②仏587	17 I II	18 I II	18 I II	18 I II	17 I II	518 I II	518 I II	518 I II
②仏1291	18 I II	19 I II	19 I II	19 I II	18 I II (*)	519 I II	519 I II	519 I II
②仏1217, 1219, 1221	19 I II	20 I II III	20 I II III IV V	20 I II III	19 I II III IV	520 I II III IV	520 I II III IV	520 I II III IV
④[Comp.] 仏2083, 2090, 2114 II		i ii	III (*IV) IV (*V)	IV V	III IV	III IV	III IV	III IV
②仏537 s.	20 I II III	21 I II III	21 I II III	21 I II III	20 I II III	521 I II III	521 I II III	521 I II III (b)
②仏539, 713	21 I ii iii II i ii	22 i ii iii [26 II i] [26 II ii]	22 (*25) i ii iii (*iii)	[25 i] [25 ii] [25 iii]		522 i ii	522 i ii	522 i ii
②仏717	22 i (*) ii iii	23 i (*) ii iii (***)	23 (*26) i ii iii	[26 i] [26 ii] [26 iii]		523 i ii	523 i ii	523 i ii (b)
	23 I II	24 I II	24 (*22) I II	22 I II	21 i ii	524 I II	524 I II	524 I (b) II
②仏538 s.	24 i ii 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o	25 i ii 1 ^o 2 ^o (*) 3 ^o 4 ^o 5 ^o	25 (*23) i ii 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o	23 i ii 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o	i (*) ii 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o	525 i ii 1 ^o 本但 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o	525 i ii 1 ^o 本但 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o	525 i ii 1 ^o 本但 2 ^o (b) 3 ^o 4 ^o 5 ^o

旧民法（邦文資料）					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議会・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	㊦㊧㊨正文	㊦(主査会)原案	㊧整理会原案	㊨衆議院議案	㊩(㊦)㊩正文
5°	5°	5°	5°	5°				
24 I i ii	23 I i ii	23 I i ii	23 I i ii	23 I i ii	—(b, ㊧c)			
II	II	II	II	II	[cf. 238 II] [cf. 255]	[239 II] [(255)254]	[239 II] [255]	[239 II] [255]
25 i(b) ii	24 i ii	24 i ii	24 i ii	24 i ii	—(b, ㊧c)			
26 i(b) ii	25 i ii	25 i ii	25 i ii	25 i ii	—(b, ㊧c)			
27 I (b) II	26 I II	26 I II	26 I II	26 I II	—(b, ㊧c)			
—(28) I (b) II (b) III (b)	27 I II	27 I II	27 I II	27 I II	—(b, ㊧c)			
—(29)(b)	28	28	28	28	—(b, ㊧c)			
—(30) I (b) II i(b) ii	29 I II i ii	29 I II i ii	29 I II i ii	29 I II i ii	—(b, ㊧c)			
		財50-63, 126, ㊦194, 195, 547, 582-598, 漢330, 405, 廣558, 伊444, ケヲ-348, 371, 372, ケヲカゴエテ'ン197, コーレ204, モツネ'ロ158, 西355, 357, 白草593, 独1草792, 793			89 I II	91 I II	88 I II	88 I II
		財52, 54, 126, 157 II, 194, ㊦549, 550, 585, 586, 漢330, 廣809, 810, 伊480, 481, ケヲ-374, ケヲカゴエテ'ン265, コーレ283, 285, モツネ'ロ156, 158, 西451, 472, 474, 白草594, 595, 621, 622, 独1草794, 898-902			90 I II	92 I II	89 I II	89 I II

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet, 1 ^{re} éd.	②Projet, 2 ^e éd.	③Projet, 1887 (+1889)	④Projet, nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑨原案
	6° 7° 8° 9°	6° 7°(***-) 8°(***-) 9°(***-)	6°	6°	5°	6°	6°	6°
	25	26	26	24	23	526	526	526
	I II III [21 II i] [21 II ii] IV	I i ii iii (***iii) II i ii III (***III)	I (+24) i ii iii II (+637bis) ii III (+604)	i ii iii	i (*) ii iii II	I i ii III	I i ii III	I i ii III
②仏717				25	24			
				[22(+25) i] [22(+25) ii] [22(+25) iii]	i ii iii			[522 i] [522 ii]
				26	25			
				[23(+26) i] [23(+26) ii] [23(+26) iii]	i ii iii			[523 i] [523 ii]
②(**) 仏1128	26 I II	27 I II	27 I II	27 I II	26 I II	527 I II	527 I II	527 I II
②[voy.]仏 1554, 1598	27 I II	28 I II III	28 I II III	28 I II III	27 I II	528 I II III	528 I II III	528 I II III
②仏1560, 1561, 2226		29 (***29)	29 (+29)	29	28	529	529	529
②仏民新581- 582, 592, 593	28 I II i ii iii	30 I II i ii iii	30 I II i ii	30 I II i ii	29 I II i ii	530 I II i ii	530 I II i ii	530 I II i ii
	29 (条数のみ)							
	30 (条数のみ)							

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
取調委員会	元老院			樞密院・正文	法典調査会		帝国議會・正文	
㊦再調査案	㊧下付案	㊨再下付案	㊩上奏案	㊪㊫㊬正文	㊭(主査会)原案	㊮整理会原案	㊯衆議院議案	㊰㊱正文
第一部 物權	第一部 物權	第一部 物權	第一部 物權	第一部 物權	第二編 物權	第二編 物權	第二編 物權	第二編 物權
				[cf. 財2]	第一章 總則	第一章 總則	第一章 總則	第一章 總則
				財296, 331, ㊬1138, ㊬1271, 伊1125, 西1094, 1096, 白草1088, 独1草868, 874	176 (乙7-1*)	176	175	175
				財45Ⅲ, 275, 348, 350-353, 取45, 担119Ⅲ, M, 145, 177-186, 188, 213 I, (旧)登記法6, ㊬1140, 1855年3月23日法1-4, 澳431, 獨671, ㄆㄆ-808, 西606, 白草1089, 独1草868, 巴草3部1草56, 366, 415	177	177	176	176
				財346, 担102 I, 証144, ㊬1141, 澳426, 獨667, 伊1126, 瑞債務法199, 200, ㄆㄆ抄'065, 白草1090, 巴草1草93	178 (乙7-3*)	178	177	177
				[cf. 第四章 占有(財179-213)]	179	179	178	178
						180 I 本 但 II III	179 I 本 但 II i ii III	179 I 本 但 II i ii III
					第二章 占有權 [180-208]	第二章 占有權 [181-207]	第二章 占有權 [180-205]	第二章 占有權 [180-205]
第一章 所有權	第一章 所有權	第一章 所有權	第一章 所有權	第一章 所有權	第三章 所有權	第三章 所有權	第三章 所有權	第三章 所有權
					第一節 所有權ノ限界	第一節 所有權ノ限界	第一節 所有權ノ限界	第一節 所有權ノ限界
31	30	30	30	30				
I II (b)	I II	I II	I II	I II	209	208	206	206
				財30, ㊬544, 獨625, 伊436, ㄆㄆ-規108, 西348, 白草581, 独2草818, 案217, 219-224				
32	31	31	31	31	(d. ㊰c)			
I II (b) III (b)	I II III	I II III	I II III	I II III				

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑨原案
	Première Partie. Des droits réels.	PREMIÈRE PARTIE. DES DROITS RÉELS.	PREMIÈRE PARTIE. DES DROITS RÉELS.	PREMIÈRE PARTIE. DES DROITS RÉELS.	PREMIÈRE PARTIE. DES DROITS RÉELS.	第一部 物權	第一部 物權	第一部 物權
	Chapitre 1 ^{er} De la propriété.	CHAPITRE PREMIER DE LA PROPRIÉTÉ.	CHAPITRE PREMIER. DE LA PROPRIÉTÉ.	CHAPITRE PREMIER. DE LA PROPRIÉTÉ.	CHAPITRE PREMIER. DE LA PROPRIÉTÉ.	第一章 所有權	第一章 所有權	第一章 所有權
④仏544 ④仏546, 551	31	31 I II	31 I (* I) II (* I)	31 I II	30 I II	531 I 本 但 II	531 I 本 但 II	531 I II
④仏545. 1841年3月 3日法律	32	32 I II III	32 I II III	32 I II III	31 I II III	532 I 本 但 II III	532 I 本 但 II III	532 I (b) II III (b)

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議會・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	(㊦㊧)㊦正文	㊦(主査会)原案	㊦整理会原案	㊦衆議院議案	(㊦)㊦正文
33(b)	32	32	32	32	— (d, ㊦c)			
34(b)	33	33	33	33	— (d, ㊦c)			
35(c)	34	34	34	34				
I (c)	I	I	I	I				
II (c)	II	II	II	II				
III (c)	III	III	III	III	— (d, ㊦c)			
IV (c)	IV (*)	IV (*)	IV (*)	IV	— (d, ㊦c)			
				財31. 仏552, 蘭626, 伊440, 447, フー1135, 西350, 白草584, 独2草819, 索218	210	(208)209	207	207
36	35	35	35	35	— (㊦c)			
37	36	36	36	36	— (d, ㊦c)			
I	I	I	I	I				
本(b)	本	本	本	本				
但(b)	但	但	但	但				
II (b)	II	II	II	II				
				財40. 仏664, 伊562, 563, 西396, 白草671, 独施行條例草73	211	(209)210	208	208
				[cf. 第五章 地役(財215-292)]	I 本 但 II	I 本 但 II	I II	I II
					[212-237]	[210(211)-238]	[209-238]	[209-238]
					第二節 所有權ノ取得	第二節 所有權ノ取得	第二節 所有權ノ取得	第二節 所有權ノ取得
					第一款 先占	(第一款 先占)		
				取23II, 取2. 3. 仏539, 713, 澳381, 382, 386, 387, 蘭639-640, 伊711, ケア-503, ゲラウフ・エント'189, 190, フー1135, 195, 202, モンテケ'074, 75, 78, 西610, 白草736, 独1草903-905, 独2草873-875, 普1部9草9, 14-18, 索227, 228, 294, 加1006, 独草440	238	239	239	239
					I II	I II	I II	I II

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法行
						a. 修正文 (-1502)	c. 修正文 (-1500)	⑨原案
④仏1807年7 月16日法律55. 1858年2月8日 デクレ	33	33	33	33	32	533 本 但	533 本 但	533
②仏650	34	34	34	34	33	534	534	534
②仏552	35 I II III (*) IV	35 I II III IV	35 I II III IV	35 I II III IV	34 I II III IV	535 I II III (但) IV	535 I II III (但) IV	535 I II III (但) IV
②仏552	36 i ii	36 i ii	36 i ii	36 i ii	35	536 本 但	536 本 但	536 i ii
②伊439	37 I II III	37 I i (**i) ii (**ii)	37 I i (*i) ii (*ii)	37 I i ii III IV	36 I i ii II	537 I 本 但	537 I 本 但	537 I 本 但 (b)

旧民法（邦文資料）				C 現行民法				
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議會・正文	
㊦再調査案	㊧下付案	㊨再下付案	㊩上奏案	㊪㊫㊬正文	㊭(主査会)原案	㊮整理会原案	㊯衆議院議案	㊰㊱正文
			取13. 伊713Ⅱ、西612Ⅲ、 独1草905Ⅱ、Ⅲ、 独2草875Ⅱ、Ⅲ		239 本 但	(195)196;	[195]	[195]
			取3Ⅰ、明8年4月66号布告内国船難破及漂流物 取扱規則29-、明9年4月56号布告遺失物取扱規則、 明27年5月18日政府提出遺失物取扱規則中改正法 律案、仏717、澳389-394、伊715-719、ゲヲ507、 ケラフコデシ191-193、195、フウレ196-198、 西615-617、モンネク082-90、白草739、740、 独1草910-927、独2草880-897、普1部9章19-72、 普1879年3月24日法律23、索239-243、 加1864-1871、紐草938-945		240 —	(241) —		240
			取5、6、23、明9年56号布告遺失物取扱規則6、 明10年9月内務省甲2号布、明14年2号告、 仏716、澳395-401、蘭642、伊714、ゲヲ506、 ケラフコデシ194、フウレ199-201、モンネク079-81、 西351、352、614、白草738、独1草828、 独2草898、普1部9章82、83、86-88、97、 索233-238		241 本 — 但	(241) 240 本 — 但	240(b) — 但	241 本 — 但
			取7-12、仏552-564、澳407-413、417-422、 蘭643-660、伊448-461、ゲヲ351、354-362、 ケラフコデシ196、200、201、フウレ126-132、 モンネク035-44、西358-374、白草597-608、 独1草890、独2草861、索284-287		242 本 — 但	(242) 241 本 — 但	242 本 — 但	242 本 — 但
			取7、14、15、仏565-568、澳414、415、蘭663、 伊463-467、ゲヲ364、ケラフコデシ198、199、 フウレ208、209、モンネク070、西375-380、 白草609、610、独1草891Ⅱ、892Ⅱ、 独2草862Ⅱ、863Ⅱ、普1部9章298-312、 索247、252		243 i — ii	(243) 242 i — ii	243 i — ii	243 i — ii
			取17、仏569、澳414、415、蘭662、伊471Ⅱ、 ゲヲ364、ケラフコデシ198Ⅱ、フウレ208、209、 モンネク071、西381、独1草891Ⅰ、独2草862Ⅰ、 普1部9章307		244 —	(244) 243 —	244 —	244 —
			取18、仏573、574、585、澳414、415、 蘭662、663、伊471、472、ゲヲ364、 ケラフコデシ198、199、フウレ208、209、 モンネク070、71、西381、382、白草613、614、 独1草892、独2草863、普1部9章298-312、索248		245 —	(245) 244 —	245 —	245 —
			取20、仏570、571、572、澳414、415、蘭661、 伊468、469、470、ケラフコデシ198、199、 フウレ208、209、モンネク068、69、西383、 白草611、612、独1草893、894、独2草865、 普1部9章298-、索246、加1028-1032、 紐草452-456		246 I 本 — 但 II	(246) 245 I 本 — 但 II	246 I 本 — 但 II	246 I 本 — 但 II

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法行
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑨原案

旧民法（邦文資料）					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議院・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	(㊦)㊦正文	㊦(主査会)原案	㊦(整理会)原案	㊦(衆議院)議案	(㊦)㊦正文
			独1草895、独2草864		247 I II	(247)246 I II	247 I II	247 I II
			財361、370、取9Ⅱ、10、11、15 I-19、 仏554、555、576、577、澳415-420、 露656-661、663、伊449-452、464、468、469、 470、472、474、475、グア-354、355、364、 グアラフコフン198、199、コロ-209、 モンテグロ72、73、西360-365、378-383、 白草599、600、615、616、独1草897、独2草866、 加1033、紐草457		248	(248)247	248(b)	248
					第三節 共有	第三節 共有	第三節 共有	第三節 共有
38 I 本(b) 但(b)	37 I 本 但	37 I 本 但	37 I 本 但	37 I 本 但				
			財37Ⅰ、伊675、グアラフコフン209、コロ-110、 モンテグロ103Ⅰ、西394、独1草765Ⅱ、 独2草769Ⅱ、普1部17章44、案331		249 本 但	(249)248 本 但	249	249
II 本 但	II 本 但	II 本 但	II 本 但	II 本 但				
			財37Ⅱ、澳839、伊674Ⅰ、グアラフコフン208、 西393Ⅱ、独1草764、独2草678、 普1部17章2、44、案328、334		[254]	[(254)253]	250	250
III	III	III	III	III	(d)			
IV(b)	IV	IV	IV	IV				
			財37Ⅳ、澳833-838、伊678、グアラフコフン211、 コロ-112、モンテグロ104、105、西395、398、 白草939、独1草765Ⅰ、Ⅲ、766、 独2草680、681、普1部17章12、19、20		[251]	[(251)250]	[252]	[252]
V	V	V	V	V				
			財37Ⅴ、澳839、伊674Ⅱ、676、グアラフコフン210、 コロ-111Ⅰ、モンテグロ103Ⅱ、106、西393Ⅰ、395、 独1草766、2草684、普1部17章46-48		[252]	[(252)251]	[253]	[253]
VI	VI	VI	VI	VI				
			財37Ⅵ、伊673、西392Ⅰ、 独2草682		[253]	[(253)252]	[254]	[254]
39 I i(b) ii(b) II 本 但	38 I i ii II 本 但	38 I i ii II 本 但	38 I i ii II 本 但	38 I i ii II 本 但				
					(d)			
					(d)			

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法律
						a. 修正案(-1502)	c. 修正案(-1500)	⑨原案
②(*) 伊673-684	38	38	38	38	37	538	538	538
	I	I	I	I	I	I	I	I
	i					本	本	本
	ii					但	但	但
		(**II)	II	II	II			II
								本
							但	
	II	II (**III)	III	III	III	II	II	III
	III	III (**IV)	IV	IV	IV	III	III	IV (b)
	IV	IV (**V)	V	V	V	IV	IV	V
	V	V (**VI)	VI	VI	VI	V (但)	V (但)	VI
		i	i	i	i			
		ii	ii	ii	ii			
②(*)伊676 ③伊679	39	39	39	39	38	539	539	539
	I	I	I	I	I (*)	I	I	I
						i	i	i
						ii	ii	ii
	II	II	II	II	II	II	II	II
		i	i	i	i	本	本	本
		ii	ii	ii	ii	但	但	但 (b)

旧民法（邦文資料）					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議会・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	㊦㊧㊨正文	㊦(主査会)原案	㊧整理会原案	㊨衆議院議案	㊩㊪正文
			財38上、澳828、834、835、伊677、 ケラブエチン211Ⅱ、西397、独1草763、独2草681、 普1部17章10、12、59、索333		250	(250)249	251	251
				[cf. 財37Ⅳ]	251 本 但	(251)250 本 但	252 本 但	252 本 但
				[cf. 財37Ⅴ]	252 Ⅰ Ⅱ Ⅲ追加	(252)251 Ⅰ Ⅱ Ⅲ	253 Ⅰ Ⅱ(b) Ⅲ	253 Ⅰ Ⅱ
				[cf. 財37Ⅲ]	253 Ⅰ Ⅱ	(253)252	254	254
				[cf. 財37Ⅱ]	254	(254)253	[250]	[250]
			238、財23Ⅱ		255	(255)254	255	255
40	39	39	39	39				
I (b)	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ				
Ⅱ (b)	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ				
Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ				
本(b) 但	本 但	本 但	本 但	本 但				
			財39Ⅰ-Ⅲ、取153、407、仏815、澳830、1481、 蘭1112、伊681、ケチ752、ケラブエチン212、 プーレ114、エンネク0108、西400、1051、1052、 白草942、944、独1草767、768、 独2草685、687、694、 普1部17章75、76、270、289、索151、337、338		256 Ⅰ 本 但 Ⅱ 本 但 Ⅲ	(256)255 Ⅰ 本 但 Ⅱ 本 但 Ⅲ	256 Ⅰ 本 但 Ⅱ 本 但	256 Ⅰ 本 但 Ⅱ 本 但
Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ				
			208、227、財39Ⅳ		257	(257)256	257	257
41 (b)			取104、105、154、403、412、仏823-828、831-838、澳841、 蘭1120-1126、伊986-997、ケチ756、757、761-763、 ケラブエチン212、プーレ115、116、エンネク0109、西402、404、 1059-1062、白草951、952、独1草769、独2草688-690、 普1部17章87、89、103、索339-344		258 本 但	(258)257 本 但	258 本 但	258 本 但
			独1草770、独2草692		259 Ⅰ Ⅱ Ⅲ	(259)258 Ⅰ Ⅱ Ⅲ	259 Ⅰ Ⅱ Ⅲ	259 Ⅰ Ⅱ
			取410、411、仏820、821、882、 蘭1113、伊680、西403、 白草983、(独草)		260 Ⅰ Ⅱ	(260)259 Ⅰ Ⅱ	260 Ⅰ Ⅱ	260 Ⅰ Ⅱ

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法律
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑨原案
	40	40	40	40	39	540	540	540
②仏815. (*伊681)	I	I	I	I	I	I 本 但	I 本 但	I 本 但
	II	II	II	II	II	II 本 但	II 本 但	II
	III	III	III	III	III i ii	III 本 但	III 本 但	III 本 但 (b)
②(*)伊683	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV (b)
	41	41	41 (*41)	41		541	541	541

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議會・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	㊦㊧正文	㊦(主査会)原案	㊦整理会原案	㊦衆議院議案	㊦㊧正文
			取106, 156, 418, 419, 仏884-886, 澳922, 蘭1130, 1131, 伊1035-1037, ク7-796-798, 西1069-1072, 白草992-994, 独1草771, 独2草693, 普1部17章97, 索2352		261	(261)260	261	261
			取415, 商134, 254, 仏842, 蘭1127, 1128, 伊999, ク7-768, 西1065, 1066		262	(262)261	262	262
					I	I	I	I
					II	II	II	II
					i	III	III	III
					ii	i	i	i
					iii	ii	ii	ii
					III	IV	IV	IV
					263	(264)263	263	263
					(乙7-2*)			
			澳825, 伊673, 西392, 独1草762 I, 2草677 I		264	(264)263	264	264
					本	本	本	本
					但	但	但	但
42	40	40	40	40				
I	I	I	I	I				
II (b)	II	II	II	II				
III	III	III	III	III				
IV	IV	IV	IV	IV				
			財40, 仏664, 伊562, 563, 西396, 白草671, 独施行條例草73		211	(209)210	208	208
					I	I	I	I
					本	本	本	本
					但	但	但	但
					II	II	II	II
43	41	41	41	41				
I	I	I	I	I				
II	II	II	II	II	[cf. 88 II]	[90 II]	[87 II]	[87 II]
本	本	本	本	本				
但	但	但	但	但				
44	42	42	42	42	(d. ㊦c)			
1°	1°	1°	1°	1°				
2°	2°	2°	2°	2°				
3°	3°	3°	3°	3°				
4°(b)	4°	4°	4°	4°				
5°	5°	5°	5°	5°				
6°	6°	6°	6°	6°				
7°	7°	7°	7°	6°				
45(b)	43	43	43	43	(d. ㊦c)			

旧民法・現行民法の条文対照表

参照立法例	A 旧民法 (仏文資料)					B		
	①Projet. 1 ^o éd.	②Projet. 2 ^o éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法律
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑨原案
②仏684. (*伊562-564)	42 I II i ii	42 I (*II) II (*III) III (*IV)	42 I II III (*III) IV	42 I II III IV	40 I II III (*) IV	542 I II i ii III i ii	542 I II i ii III i ii	542 I II III IV i ii
④仏1815	43	43	43(*43I) (*II-16III)	43 I II	41 I II	543	543	543 [516III本] [516III本]
	44 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o 6 ^o 7 ^o	44 1 ^o 2 ^o i ii 3 ^o 4 ^o 5 ^o 6 ^o 7 ^o i ii	44 1 ^o 2 ^o i ii 3 ^o 4 ^o 5 ^o 6 ^o 7 ^o i ii	44 1 ^o 2 ^o i ii 3 ^o 4 ^o 5 ^o 6 ^o i ii	42 1 ^o 2 ^o 2 ^o 3 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o 6 ^o 6 ^o	544 1 ^o 2 ^o 本 但 3 ^o 4 ^o 5 ^o 6 ^o 7 ^o 本 但	544 1 ^o 2 ^o 本 但 3 ^o 4 ^o 5 ^o 6 ^o 7 ^o 本 但	544 1 ^o 2 ^o 本 (b) 但 3 ^o 4 ^o 5 ^o 6 ^o 7 ^o 本 但
	45(条数のみ)	45 (***45)	45 (*45)	45	43	545	545	545(b)

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議会・正文	
㊦再調査案	㊧下付案	㊨再下付案	㊩上奏案	(㊪㊫)正文	㊬(主査会)原案	㊭整理会原案	㊮衆議院議案	(㊯)正文
第二章 用益權、使用 權及ヒ住居權 (b)	第二章 用益權、使用 權及ヒ住居權	第二章 用益權、使用 權及ヒ住居權	第二章 用益權、使用 權及ヒ住居權	第二章 用益權、使用 權及ヒ住居權				
第一節 用益權	第一節 用益權	第一節 用益權	第一節 用益權	第一節 用益權	—(Z8-1')			
46 I II	44	44	44	44				
第一款 用益權ノ設定	第一款 用益權ノ設定	第一款 用益權ノ設定	第一款 用益權ノ設定	第一款 用益權ノ設定				
47 I (b) II III IV V VI (b)	45 I II III IV V	45 I II (b) III IV V	45 I II III IV V	45 I II III IV V				
48 I (b) II (b)	46 I II	46 I II	46 I II	46 I II				
49 I (b) II (b) III (b)	47 I II III	47 I II III	47 I II III	47 I II III				
50 I i (b) ii II (b)	48 I i ii II	48 I i ii II	48 I i ii II	48 I i ii II				

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (#1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省付
						a. 修正文 (-1502)	c. 修正文 (-1500)	⑨原案
	Chapitre II. De l'usufruit, de l'usage et de l'habitation.	CHAPITRE II. DE L'USUFRUIT. DE L'USAGE ET DE L'HABITATION.	CHAPITRE II. DE L'USUFRUIT. DE L'USAGE ET DE L'HABITATION.	CHAPITRE II. DE L'USUFRUIT. DE L'USAGE ET DE L'HABITATION.	CHAPITRE II. DE L'USUFRUIT. DE L'USAGE ET DE L'HABITATION.	第二章 用收權、使用 權及住居權	第二章 用收權、使用 權及住居權	第二章 用收權使用權 及住居權
			DISPOSITION PRÉLIMINAIRE.	DISPOSITION PRÉLIMINAIRE.	SECTION PREMIÈRE. DE L'USUFRUIT.			
④仏578	46 I II	46 I II	46 I II	46 I II	44	546 I II	546 I II	546 I II
	Section. 1 ^{re} De l'établissement de l'usufruit.	SECTION PREMIÈRE. DE L'ÉTABLISSEMENT DE L'USUFRUIT.	SECTION PREMIÈRE. DE L'ÉTABLISSEMENT DE L'USUFRUIT.	SECTION PREMIÈRE. DE L'ÉTABLISSEMENT DE L'USUFRUIT.	§ 1 ^{er} . -- DE L'ÉTABLISSEMENT DE L'USUFRUIT.	第一節 用收權ノ設定	第一節 用收權ノ設定	第一節 用收權ノ設定
②仏579	47 I II III IV	47 I II III (**IV) IV (**V)	47 I (*-) (* I) II III IV V (*V) VI (*-) (*VI)	47 I II III IV V VI	45 I II III IV V V (*)	547 I II III IV V	547 I II III IV V	547 I (b) II III IV V VI
②仏580	48 I II III	48 I II III i ii	48 I II III i ii	48 I II III i ii	46 I II	548 I II III i ii	548 I II III i ii	548 I 本 但 II III i ii
②仏581	49 I II III	49 I II III	49 I II III	49 I II III	47 I II III	549 I II III	549 I II III	549 I II III
	50 I II	50 I II	50 I II	50 I II	48 I II	550 I 本 但 II	550 I 本 但 II	550 I 本 但 II (b)

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
取調委員会	元老院			樞密院・正文	法典調査会		帝国議會・正文	
㊦再調査案	㊧下付案	㊨再下付案	㊩上奏案	(㊪㊫)正文	㊬(主査会)原案	㊭整理会原案	㊮衆議院議案	(㊯)㊰正文
第二款 用益者ノ權利	第二款 用益者ノ權利	第二款 用益者ノ權利	第二款 用益者ノ權利	第二款 用益者ノ權利				
51	49	49	49	49				
I (b)	I	I	I	I				
II	II	II	II	II				
本 (b)	本	本	本	本				i
但 (b)	但	但	但	但				ii
								iii(但)
52	50	50	50	50				
I	I	I	I	I				
i(b)	i	i	i	i				i
ii	ii	ii	ii	ii				ii
iii(但)	iii(但)	iii(但)	iii(但)	iii(但)				iii(但)
(b)								
II	II	II	II	II				
本	本	本	本	本				本
但 (b)	但	但	但	但				但
53(b)	51	51	51	51				
54	52	52	52	52				
I	I	I	I	I				
i	i	i	i	i				i
ii	ii	ii	ii	ii				ii
II	II	II	II	II				II
55	53	53	53	53				
i	i	i	i	i				i
ii	ii	ii	ii	ii				ii
56	54	54	54	54				
I (b)	I	I	I	I				I
II (b)	II	II	II	II				II
57	55	55	55	55				
I	I	I	I	I				I
本(b)	本	本	本	本				本
但(b)	但	但	但	但				但
II	II	II	II	II				II
58	56	56	56	56				
I	I	I	I	I				I
本 (b)	本	本	本	本				本
但	但	但	但	但				但
II (b)	II	II	II	II				II

旧民法・現行民法の条文対照表

参照立法例	A 旧民法 (仏文資料)					B		
	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下村案		司法省法律
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑨原案
	Section. II ^e Des droits de l'usufruitier.	SECTION II. DES DROITS DE L'USUFRUITIER.	SECTION II. DES DROITS DE L'USUFRUITIER.	SECTION II. DES DROITS DE L'USUFRUITIER.	§ 11 -- DES DROITS DE L'USUFRUITIER.	第二節 用收者ノ權利	第二節 用收者ノ權利	第二節 用收者ノ權利
②仏600	51 I II	51 I II	51 I II (*I)	51 I II	49 I II	551 I II i ii iii(但)	551 I II i ii iii(但)	551 I II i ii iii(但)
②仏585	52 I i ii II	52 I i ii II	52 I i ii II	52 I i ii II	50 I i ii II	552 I 本 但 II	552 I 本 但 II	552 I 本 但 II 本 但
②(*)仏578, 582	53	53	53	53	51	553	553	553
②仏583	54 I II	54 I II	54 I II	54 I II	52 I II	554 I 本 但 II	554 I 本 但 II	554 I 本 但 II
②仏593	55 I II	55 I II	55 I II	55 I II	53 i ii	555 I i ii II	555 I i ii II	555 I i ii II
②仏586	56 I	56 I	56 I	56 I	54 I	556 I	556 I	556 I
②(**)仏584	II i ii	II i ii	II i ii (*i) (*ii)	II i ii	II i ii	II i ii	II i ii	II i ii
②仏587	57 I i ii II	57 I II (*)	57 I II	57 I II	55 I II	557 I 本 但 II III	557 I 本 但 II III	557 I 本 但 II
②仏589	58 i ii	58 I ii II (*)	58 I II (*II)	58 I ii II	56 I II	558 I 本 但 II	558 I 本 但 II	558 I 本 但 II

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議会・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	(㊦㊧)㊦正文	㊦(主査会)原案	㊦整理会原案	㊦衆議院議案	(㊦)㊦正文
59	57	57	57	57				
I 本 但 II	I 本 但 II	I 本 但 II	I 本 但 II	I 本 但 II				
60	58	58	58	58				
本(b) 但(b)	本 但	本 但	本 但	本 但				
61	59	59	59	59				
I (b) II 本 但 (b)	I II 本 但	I II 本 但	I II 本 但	I II 本 但				
62	60	60	60	60				
I II i (b) ii (b)	I II i ii	I II i ii (b)	I II i ii (b)	I II i ii				
63(b)	61	61	61	61				
64	62	62	62	62				
I (b) II 本 (b) 但 III	I II 本 但 III	I II 本 但 III	I II 本 但 III	I II 本 但 III				
65	63	63	63	63				
I II 本 (b) 但 (b) III (b)	I II 本 但 III	I II 本 但 III	I II 本 但 III	I II 本 但 III				
—								
67	64	64	64	64				64
I II (b) III	I II III	I II III	I II III	I II III				

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法（仏文資料）						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦民法編纂局案・元老院下付案		司法省法律
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑧原案
④仏588	59 I	59 I (*** I)	59 I	59 I	57 I	559 I 本 但	559 I 本 但	559 I 本 但
	II	II (*** II)	II	II	II	II	II	II
	60	60	60	60	58(*)	560 本 但	560 本 但	560 本 但
②仏590, 591	61 I	61 I	61 I	61 I	59 I	561 I	561 I	561 I
	II	II	II	II	II	II 本 但	II 本 但	II 本 但 (b)
②仏592	62 I	62 I	62 I	62 I	60 I	562 I	562 I	562 I
	II	II	II (* II)	II	II	II i ii	II i ii	II i ii
②仏593	63	63	63	63	61	563	563	563
	64 I	64 I	64 I	64 I	62 I	564 I	564 I	564 I
	II	II	II (* II)	II	II	II 本 但	II 本 但	II 本 但
②仏590 II	III	III	III	III	III	III	III	III
②仏598	65 I	65 I	65 I (* I)	65 I	I	I	I	I
	II	II	II	II	II	II 本 但	II 本 但	II 本 但
	III	III	III	III	III	III	III	III
④[Secus] 仏598 I	66	66 I	66 I (* I)	66 I		I (*) II (*)	I II	I II
		II	II	II				
②仏596	67 I	67 I	67 I	67 I		567 I	567 I	567 I
	II	II	II	II		II	II	II
②仏598 II	III	III	III	III	64	III	III	III

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議會・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	㊦㊧㊨正文	㊦(主査会)原案	㊦整理会原案	㊦衆議院議案	㊦㊩正文
68	65	65	65	65				
69	66	66	66	66				
i	i	i	i	i				
ii	ii	ii	ii	ii				
70	67	67	67	67				
I (b)	I	I	I	I				
II (b)	II	II	II	II				
III	III	III	III	III				
71	68	68	68	68				
I	I	I	I	I				
i (b)	i	i	i	i				
ii (b)	ii	ii	ii	ii				
		iii (但)	iii (但)					
II	II	II	II	II				
本(b)	本	本	本	本				
但(b)	但	但	但	但				
72	69	69	69	69				
I	I	I	I	I				
i	i	i	i	i				
ii (b)	ii	ii	ii	ii				
II (b)	II	II	II	II				
III	III	III	III	III				
本(b)	本	本	本	本				
但(b)	但	但	但	但				
73	70	70	70	70				
I (b)	I	I	I	I				
II (b)	II	II	II	II				
III	III	III	III	III				
本(b)	本	本	本	本				
但	但	但	但	但				
IV (b)	IV	IV	IV	IV				

旧民法・現行民法の条文対照表

参照立法例	A 旧民法 (仏文資料)					B		
	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法
						a. 修正文 (-1502)	c. 修正文 (-1500)	⑨原案
	68	68	68	68	65	568	568	568
②仏597	69 i ii	69 i ii	69 i ii	69 i ii	66 i ii	569 i ii	569 i ii	569 i ii
	70 I II	70 I II (**II)	70 I II (*III)	70 I II III	67 I II III	570 I II	570 I II	570 I II
②(**)仏2118	71 I	71 I	71 I (*I)	71 I II	68 I II	571 I i ii(*) iii(他)	571 I i ii iii(他)	571 I i ii
②(**)仏595, 2125	II	II	II (*i) (*ii)	II i ii	II	II	II	II
	72 I II III	72 I II III	72 I II III	72 I II III	69 I II III	572 I II III 本 但	572 I II III 本 但	572 I II III 本 但
②仏595 I	I	I	I	I	I	I	I	I
②仏599	II III	II III	II III	II III	II III	II III 本 但	II III 本 但	II III 本 但
		73 I II III i ii [189Ⅲ](**IV)	73 I II III i ii IV(*-) (*IV) (*i) (*ii) V (**IV)	73 I II III i ii	70 I II III i ii	573 I II III 本 但	573 I II III 本 但	573 I II III 本 但 IV V
				I II III IV V				

旧民法（邦文資料）					C 現行民法			
取調委員会	元老院			樞密院・正文	法典調査会		帝国議會・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	(㊦㊧)㊦正文	㊦(主査会)原案	㊦整理会原案	㊦衆議院議案	(㊦)㊦正文
第三款 用益者／義務	第三款 用益者／義務	第三款 用益者／義務	第三款 用益者／義務	第三款 用益者／義務				
74(b)	71	71	71	71				
75	72	72	72	72				
i(b) ii	i ii	i ii	i ii	i ii				
76	73	73	73	73				
I i ii(但) iii II	I i ii(但) iii II	I i ii(但) iii II	I i ii(但) iii II	I i ii(但) iii II				
77	74	74	74	74				
I 本(b) 但(b) II	I 本 但 II	I 本 但 II	I 本 但 II	I 本 但 II				
78	75	75	75	75				
I 本(b) 但 II(b)	I 本 但 II	I 本 但 II	I 本 但 II	I 本 但 II				
79(b)	76	76	76	76				
80	77	77	77	77				
81	78	78	78	78				
I i ii iii II III	I i ii iii II III	I i ii iii II III	I i ii iii II III	I i ii iii II III				

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	㊦㊧㊨民法編纂局案・元老院下付案		司法省法行
						a. 修正案(-1502)	c. 修正案(-1500)	㊩原案
	SECTION III. DES OBLIGATIONS DE L'USUFRUITIER.	SECTION III. DES OBLIGATIONS DE L'USUFRUITIER.	SECTION III. DES OBLIGATIONS DE L'USUFRUITIER.	SECTION III. DES OBLIGATIONS DE L'USUFRUITIER.	§ III.-- DES OBLIGATIONS DR (???) L'USUFRUITIER.	第三節 用收者ノ義務	第三節 用収者ノ義務	第三節 用收者ノ義務
㊦仏600	73	74	74	74	71	574	574	574
	74 i ii	75 i ii	75 i ii	75 i ii	72 i ii	575 i ii	575 i ii	575 i ii
	75 I i ii II	76 I i ii II	76 I i ii II (* II)	76 I i ii II	73 I i ii II	576 I 本 但 II III	576 I 本 但 II III	576 I i(b) ii(但) iii II
㊦伊496	76	77 I II	77 I II	77 I II	74 I II	577 I 本 但 II	577 I 本 但 II	577 I 本 但 II
	77 I II	78 I II	78 I II	78 I II	75 I II	578 I 本 但 II	578 I 本 但 II	578 I 本 但 II
	78	79	79	79	76	579	579	579
	79 i ii	80 i ii	80 i ii	80 i ii	77 i ii	580 i ii	580 i ii	580 i ii
	80 I II III	81 I II III	81 I II III	81 I II III	78 I II III	581 I ii iii II III	581 I ii iii II III	581 I ii iii II III

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議会・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	(㊦㊧)正文	㊦(主査会)原案	㊦整理会原案	㊦衆議院議案	(㊦)正文
82	79	79	79	79				
83	80	80	80	80				
I (b)	I	I	I	I				
II	II	II	II	II				
III	III	III	III	III				
IV	IV	IV	IV	IV				
84	81	81	81	81				
85	82	82	82	82				
i (b)	i	i	i	i				
ii (但) (b)	ii (但)	ii (但)	ii (但)	ii (但)				
iii	iii	iii	iii	iii				
86	83	83	83	83				
I	I	I (b)	i					
II	II	II (b)	ii	83				
III (b)								
87	84	84	84	84				
I								
II	I	I	I	I				
III	II	II	II	II				
本 但	本 但	本 但	本 但	本 但				
88	85	85	85	85				
本 但	本 但	本 但	本 但	本 但				
89	86	86	86	86				
I	I	I	I	I				
II	II	II	II	II				
III	III	III	III	III				

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法1
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑨原案
	81	82	82	82	79	582	582	582
⑥④.602, 603	82 I II III IV	83 I II III IV	83 I II III IV	83 I II III IV	80 I II III IV	583 I II III IV	583 I II III IV	583 I 本 但 II III IV
	83	84	84	84	81	584	584	584
⑥④.601	84 I i ii II	85 I i ii II	85 I i ii II	85 I i ii II	82 i ii iii(*)	585 I 本 但 II	585 I 本 但 II	585 I 本 但 II
⑥④.601	III IV	86 I II III	86 I II III (*III)	86 I II III	83	586 I II III	586 I II III	586 I (b) II (b) III (b)
	85 I II	87 I II	87 I II i ii	87 I II i ii	84 I II i ii	587 I II 本 但	587 I II 本 但	587 I II 本 但
	86	88	88	88 I II (*)	85	588 本 但	588 本 但	588 本 但
⑥④.605	87 I II III	89 I II III	89 I II III (*→) (*III=91 I) (*i) (*ii)	89 I II III i ii	86 I II III i ii	589 I 本 但 II III	589 I 本 但 II III	589 I II III [591 I]

旧民法（邦文資料）					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議会・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	(㊦㊧)㊨正文	㊩(主査会)原案	㊪整理会原案	㊫典議院議案	(㊬)㊭正文
IV (b)	IV	IV	IV	IV				
90	87	87	87	87				
I	I	I	I	I				
II	II	II	II	II				
III	III	III	III	III				
[89III]								
[89IV]								
91	88	88	88	88				
本 但	本 但	本 但	本 但	本 但				
92	89	89	89	89				
I	I	I	I	I				
II	II	II	II	II				
III	III	III	III	III				
1°	1°	1°	1°	1°				
2°	2°	2°	2°	2°				
本 但	本 但	本 但	本 但	本 但				
93	90	90	90	90				
I	I	I	I	I				
i	i	i	i	i				
ii	ii	ii	ii	ii				
II								
94	91	91	91	91				
I	I	I	I	I				
本 但	本 但	本 但	本 但	本 但				
(b II) 95 I.								
i (b)								
ii (b)								

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^e éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法行
						a. 修正案(-1502)	c. 修正案(-1500)	⑨原案
			(*IV=91 II) (*i) (*ii)	IV i ii	IV i ii			[591 II]
②仏607	88 i ii	90 i ii	90(*-) i(*-) ii(*-)	90 I II III	87 I II	590 i ii	590 i ii	590 i ii
③(*)伊502			(*I) (*II)					
③(*)仏605, 607: 伊503			(*III)					
②仏606: 伊504	89 I i ii II	91 I i ii II i ii	91 I (*89 III) i ii II (*89 IV) i ii (*91)	91	88	591 I II	591 I II	591 I II
③(*) [v.] 仏607								
②仏608	90 I	92	92 (*92 I)	92 I	89 I	592	592	592
②仏609	II III 1° 2°	93 I II 1° 2°	93 I (*92 II) II (*92 III) 1° 2° (*2°)	II III 1° 2°	II III 1° 2°	593 I II 本 但	593 I II 本 但	593 I II 1° 本 但
			(*93)	93 I II	90			
	91 I i ii	94 I i ii	94 I	94 I i ii	91 I	594 I 本 但 II i ii	594 I 本 但 II i ii	594 I 本 但 II i ii

旧民法（邦文資料）					C 現行民法			
取調委員会		元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議會・正文
㊦再調査案	㊧下付案	㊨再下付案	㊩上奏案	㊪㊫㊬正文	㊭(主査会)原案	㊮整理会原案	㊯衆議院議案	㊰㊱正文
II i	II i	II i	II i	II i				
ii iii	ii iii	ii iii	ii iii	ii iii				
III	III	III	III	III				
95 I i ii	92 I i ii	92 I i ii	92 I i ii	92 I i ii				
(b I) II	II i	II i	II i	II i				
(b II) III	ii	ii	ii	ii				
96 I II	93 I II	93 I II	93 I II	93 I II				
97(b) I (b) II (b) 本(b) 但(b)	94 I II 本 但	94 I II 本 但	94 I II 本 但	94 I II 本 但				
98 1° 2° 3°	95 1° 2° 3°	95 1° 2° 3°(b)	95 1° 2° 3°	95 1° 2° 3°				
99 i(b) ii(b)	96 i ii	96 i ii	96 i ii	96 i ii				
100 I II i(b) ii III (b)	97 I II i ii III	97 I II i ii III	97 I II i ii III	97 I II i ii III				
101 i ii	98 i ii	98 i ii	98 i ii	98 i ii				

旧民法・現行民法の条文対照表

参照立法例	A 旧民法 (仏文資料)					B		
	①Projet. 1 ^o éd.	②Projet. 2 ^o éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法律
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑨原案
			(*II) (*I)	II i ii	II i			
			(*ii)	iii	ii			
	II i ii	II i ii	II (*95 I) i ii	[95 I] i ii	III	III	III	III
			III (*)	III (*)	III			
	92	95	95 (* I) [94 II i] [94 II ii] I (*II)	95 I	92 I i ii			[594 II i] [594 II ii]
	I i ii	I i ii	i ii	i ii	II i(*)	595 I i ii	595 I i ii	595 I i ii
	II	II	II (*III)	II (*III) III (*)	ii	II	II	II
②④612 I ②④610	93 I II	96 I II	96 I II	96 I II	93 I (*) II	596 I II	596 I II	596 I II
②④611. 1024 ②④684	94 I II	97 I II	97 I II	97 I II	94 I II	597 I II 本 但	597 I II 本 但	597 I II 本 但
②④612	95 I II III IV	98 I II III IV	98 I II III IV	98 I II III IV	95 1 ^o 2 ^o (*) 3 ^o	598 I II III IV	598 I II III IV	598 I II III IV
②④614	96 i ii	99 i ii	99 i ii	99 i ii	96 i ii	599 i ii	599 i ii	599 i ii
②④613	97 I II III IV	100 I II III IV	100 I (* I)	100 I II III IV	97 I II iii III	600 I i ii II III IV	600 I i ii II III IV	600 I i ii II III IV
②④613	98 i ii	101 i ii	101 i ii	101 i ii	98 i ii	601 本 但	601 本 但	601 i ii

旧民法 (邦文資料)					C 現行民法			
取調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議會・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	(㊦㊧)㊦正文	㊦(主査会)原案	㊦整理会原案	㊦衆議院議案	(㊦)㊦正文
第四款 用益權ノ消滅	第四款 用益權ノ消滅	第四款 用益權ノ消滅	第四款 用益權ノ消滅	第四款 用益權ノ消滅				
102	99	99	99	99(*)				
1°	1°	1°	1°	1°				
2°	2°	2°	2°	2°				
3°	3°	3°	3°	3°				
4°	4°	4°	4°	4°				
5°(b)	5°	5°	5°	5°				
103	100	100	100	100				
i	i	i	i	i				
ii	ii	ii	ii	ii				
104	101	101	101	101				
本(b)	本	本	本	本				
但(b)	但	但	但	但				
105	102	102	102	102				
I	I	I	I	I				
II	II	II	II	II				
106	103	103	103	103				
I(b)	I	I	I	I				
II(b)	II	II	II	II				
107	104	104	104	104				
I(b)	I	I	I	I				
II	II	II	II	II				
III(b)								
i(b)	III	III	III	III				
ii(b)								
108	105	105	105	105				
109								
i	[109i]							
ii	[109ii]							
iii(但)	[109iii(但)]							

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^o éd.	②Projet. 2 ^o éd.	③Projet. 1887 (+1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦⑧民法編纂局案・元老院下付案		司法省法
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑨原案
	SECTION IV. DE L'EXTINCTION DE L'USUFRUIT.	SECTION IV. DE L'EXTINCTION DE L'USUFRUIT.	SECTION IV. DE L'EXTINCTION DE L'USUFRUIT.	SECTION IV. DE L'EXTINCTION DE L'USUFRUIT.	§ IV -- DE L'EXTINCTION DE L'USUFRUIT.	第四節 用收權ノ消滅	第四節 用收權ノ消滅	第四節 用收權ノ消滅
②仏617	99 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o	102 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o	102 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o	102 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o	99 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o	602 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o	602 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o	602 I II 1 ^o 2 ^o 3 ^o 4 ^o 5 ^o
	100	103	103	103	100	603	603	603 i ii
②仏619	101	104	104	104	101	604 本 但	604 本 但	604 本 但
②仏622	102 I II	105 I II	105 I II	105 I II	102 I II	605 I II	605 I II	605 I (b) II (b)
	103	106 I II	106 I II	106 I II	103 I II	606 I (*) II	606 I II	606 I II
④仏618	104 I II	107 I II	107 I II III	107 I II III	104 I II III (*)	607 I i (*) ii II	607 I i ii II	607 I i ii II
④仏618	III	III	i ii (*ii)	i ii	III (*)	III	III	III
②仏618 II	105	108	108	108	105	608	608	608
②仏585 II	106 i ii	109 i ii	109 i ii (*ii)	109 i ii	[109i] [109ii]	609 i ii iii(但)	609 i ii iii(但)	609 i ii iii(但)

日民法 (邦文資料)					C 現行民法			
改調委員会	元老院			枢密院・正文	法典調査会		帝国議会・正文	
㊦再調査案	㊦下付案	㊦再下付案	㊦上奏案	(㊦㊧)㊦正文	㊦(主査会)原案	㊦整理会原案	㊦衆議院議案	(㊦)㊦正文
110 本 但	106 本 但	106 本 但	106 本 但	106 本 但				
111								
112	107 I i	107 I i	107 I i	107 I i				
113(b) 本(b) 但(b) 113 改正 本 但 新II	ii iii(但) II	ii iii(但) II	ii iii(但) II	ii iii(但) II				
114 I II	108 I II	108 I II	108 I II	108 I II				
115 I II	109 i ii iii(但)	109 i ii iii(但)	109 i ii iii(但)	109 i(*) ii iii(但)				
第二節 使用權及七 住居權	第二節 使用權及七 住居權	第二節 使用權及七 住居權	第二節 使用權及七 住居權	第二節 使用權及七 住居權	一(乙8-2*)			
116 I II III	110 I II III	110 I II III	110 I II III	110 I II III				
117(b)	111	111	111	111				
118	112	112	112	112				
119	113	113	113	113				
120 I II III(b)	114 I II III	114 I II III	114 I II III	114 I II III				

旧民法・現行民法の条文対照表

A 旧民法 (仏文資料)						B		
参照立法例	①Projet. 1 ^{re} éd.	②Projet. 2 ^{re} éd.	③Projet. 1887 (*1889)	④Projet. nouvelle éd.	⑤Exposé des Motifs.	⑥⑦民法編纂局案・元老院下付案		司法省法律
						a. 修正文(-1502)	c. 修正文(-1500)	⑧原案
②仏624	107 i ii	110 i ii	110	110	106	610 本 但	610 本 但	610 本 但
	108	111	111	111		611	611	611
②仏1841年 3月3日法律39	109	112	112	112	107 I i(*)	612	612	612
②仏1841年 3月3日法律39	110	113	113(*)			613 本 但	613 本 但	613 本 但
			(*113) (*) (*i)	113	ii(*) II			
③(*)仏704	111 I II III	114 I II III	114 I II III	114 I II III	108 I II	614 I II III	614 I II III	614 I II III
②仏615, 616	112 I II	115 I II	115 I II	115 I II	109 i(*) ii	615 I II	615 I II	615 I II
			[109i] [109ii] [*109ii]	[109i] [109ii]				
	APPENDICE. RÈGLES PARTICULIÈRES À L'USAGE ET À L'HABITATION.	APPENDICE. RÈGLES PARTICULIÈRES À L'USAGE ET À L'HABITATION.	APPENDICE. RÈGLES PARTICULIÈRES À L'USAGE ET À L'HABITATION.	APPENDICE. RÈGLES PARTICULIÈRES À L'USAGE ET À L'HABITATION.	SECTION II. DE L'USAGE ET DE L'HABITATION.	附録 使用權ニ 特別ナル規則	附録 使用權ニ 特別ナル規則	附録 使用權及ヒ 住居權ニ 特別ナル規則
②仏630 ②仏632, 633 ②仏625	113 I II	116 I II III	116 I II III	116 I II III	110 I II III	616 I II III	616 I II III	616 I II III
②仏630, 632	114 i ii	117 i ii	117 i ii	117 i ii	111 i ii	617 i ii	617 i ii	617
②[Comp.] 仏628, 629	115	118	118	118	112	618	618	618
②仏631, 634	116	119	119	119	113	619	619	619
②仏626 ②仏627 ②仏635	117 I II III	120 I II III	120 I II III	120 I II III	114 I II III	620 I II III	620 I II III	620 I II III(b)
	(118-120欠)							